

市長記者会見記録

日時：2023年12月5日（火）14時00分～14時11分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

【司会】 ただいまより、定例市長記者会見を始めます。本日の議題は、市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入りますが、進行につきましては、幹事社の方によりしくお願いいたします。

《自治体情報システム統一・標準化について》

【読売（幹事社）】 幹事社の読売新聞です。よろしくお願いいたします。

ガバメントクラウドについて伺いたいんですけども、政府が25年度末に移行を決めていて、川崎市のほうでも財政的な課題だったり、人材育成の部分だったり、違約金が発生するなど様々な課題があると思うんですけども、市長の見解として、一番どういうところに課題があるかということと、国に求めたいことがあれば改めて教えてください。

【市長】 まず、今、世の中全体、様々なシステム改修だとかが行われていて、技術者みたいなものが非常に不足しているという中であって、対応が非常に難しいと。いつまでにとかというのが、政府がいろいろ前から言っておられますけれども、スピード感としては非常に難しい問題になってきているのではないかなという認識であります。

繰り返し、指定都市市長会などを通じましても、今の現状について要請させていただいております。現実に見合ったスピード感を求めていきたいと思っています。

【読売（幹事社）】 幹事社からは以上です。いいですか。

《ライドシェアの導入について》

【NHK】 幹事社、NHKです。

2点お伺いしたいんですけども、1点目はライドシェアについてなんですけれども、神奈川県内でも始まっていたり、政府でも議論が加速している部分はあると思うんですけども、川崎市におけるライドシェアの可能性という部分と、市としてどんなお考えをいらっしゃるか、それから国に求めていきたいことなどあれば教え

てください。

【市長】 地方と都市部のところで少し状況が違うと思うんですけども、いずれにしても運転手さんの不足という形で、あるいは高齢化という形で、いろんな運転手さんがいろんな業界をまたいで人を取り合っているという状況の中で、足を確保するのが大変だという状況は私たちも同じ認識しております。

その中で、ライドシェアの議論が国のほうで進められているのを注意深く見守っているということです。可能性もあるし、課題もあると思っていますので、その議論をしっかりと見極めていきたいと思っています。

《東京都の高校授業料の実質無償化について》

【NHK】 あともう1点、ちょっと毛色の違う話なんですけれども、東京都が高校の無償化を、今日かな、ニュース、報道されていましてけれども、私立含めて所得制限を撤廃した無償化を発表されましたけれども、川崎市にはどのような影響を与えると思われませんか。

【市長】 あらゆる面で、東京都の政策が与える影響を一番大きく受ける自治体でありますので、正直、東京都の財政力と比較されては、もう全く太刀打ちできないので、その影響というのは非常に大きいと思います。子育て施策はじめ、先ほど人材不足の話をしましたけれども、医療だとか福祉だとか、こういった人材も東京都が加算するものですから、一番隣接している川崎市の自治体というのが流出してしまうという懸念は、本当に著しい影響があると思っています。ちょっとどういう影響が、非常にインパクトのある話ですので、どう影響を受けてくるかということではありますが。

正直、東京都と川崎市という基礎自治体とを、皆さんいろんなものを比べてしまうんですけども、その辺りを混同される懸念はすごくあるので、心配しています、正直なところ。

【NHK】 幹事社からは以上です。各社さん、お願いします。

《3期目2年を終えての感想》

【朝日】 朝日新聞でございます。

市長就任して3期目で、2年過ぎられました、この3期目の2年間の総括、達成度と、あと、残り2年の任期についての課題、取組について教えていただけますか。

【市長】 今期に掲げた公約についても、着実に進捗しているとは認識しておりますので、まだ現在進行形のところが多々ありますから、それをしっかりと任期中に達成することに全力を尽くしたいと思いますし、また、公約でない様々な市政課題、たくさん出てきていますので、それについても、しっかりと向き合っていきたいと思っています。

おります。

《特別市実現に向けた進捗状況について》

【朝日】 特別市の実現については、御自身としての達成度評価はいかがなものでしょうか。

【市長】 特別市になるという決意をしている以上、やはり法制化というところまで持っていかなければならないと思っていますので、そういった意味ではまだハードル高いなとは思っていますが、引き続き全力を尽くしていきたいと思っています。

【朝日】 県内の政令指定都市3市の首長さんと皆さん連携されて、県内の市町村の首長さんに説明していくということを以前表明されていたと思いますけれども、理解のほうは得られたのでしょうか。

【市長】 一度、3市の市長で県内の市長さんに向けて説明をさせていただきましたけれども、時間がたっておりますので、今の現状などをタイミングよく伝えていくことも必要だと思います。これからもやっていきたいと思いますが、そもそも市長さん、それぞれ考え方があるんですけど、この話はあんまり私たちの市とは関係ない、県と政令市間の話だよねとおっしゃる方だとか、特別市になったら私たちのところにどういう影響が来るのかということをお心配されている方もいらっしゃるのでは、いや、こういうことですよという説明は引き続きやっていかなければならないなと思っています。

【朝日】 すみません、シチョウというのは市と町という意味ですか。

【市長】 いえ、市です。県市長会に所属している市ということになります。

【朝日】 町と村の首長さんには。

【市長】 いえ、やっていません、まだ。できていません。

【朝日】 ありがとうございます。

《県単独補助事業における補助基準の格差是正について》

【神奈川】 神奈川新聞です。

県の補助金についてお伺いしたいんですけれども、先日、黒岩知事が県内の各市町村に分配している単独補助金に関して、政令市の場合、補助率を引き上げて、市町村と同等のレベルにしようということで方針表明がありました。この点について受け止めをお聞きしたいんですけれども、今、特別市の質問もありましたけれども、特別市の実現に向けて取り組む理由の一つに、今回の補助金の格差というのも一つ挙げられていたかと思うんですけれども、その点も踏まえてお話しいただければと思います。

【市長】 まず、この補助の話と特別市の話というのは全く別の話ですので、こうい

う県、市の課題があるよという一例として補助金の話というのはありますけれども、この補助金の話と特別市のことは、全く違う課題だと受け止めていただきたいと思います。

それと、今回の格差が是正されたことというのは、繰り返しにわたって、同じ県税を納めている県民に対して合理的な説明をしてくださいと、なぜこの格差があるのかということは、全く到底理解はできないのでということを繰り返し求めてきたのが、ようやく是正されてということになるので、それが確実に実行されることをしっかり見ていきたいと思っておりますし、この格差是正というのは、当然のことではあります、戻っただけということはありませんけれども、歓迎したいと思っております。

【神奈川】 ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問いかがでしょうか。

《川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例について》

【朝日】 11月の記者会見でも質問があったんですけども、ヘイトスピーチ禁止条例4年ということで、振り返りと、あと、今後の条例の運用改善の課題について教えていただけないでしょうか。

【市長】 条例ができて、条例に明らかに抵触するような、そういった言動というのは行われていないとは思っておりますけれども、一方で、インターネット上での差別に基づいた記載、記述が一向に減っていないという状況は、深刻な問題だと受け止めています。実際、投稿削除要請した数も増えておりますし、そのこと自体、非常に残念なことだと思っております。やはり、こういったこと、繰り返し啓発も必要でありますし、こういった人権侵害に対して、自治体としてもそうですし、国としてもしっかりと啓発していくべきだと私は思っております。

今後についても、これをつくったから全て終わりということではないと思っておりますので、今後の状況をしっかりと注視しながら、今何かということではありませんけれども、継続して考えていかなければならない課題だと思っております。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 ほかに、よろしかったでしょうか。

それでは、本日の市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当